

## ■札幌ふるさとの樹木：その2

### ヤチダモ(モクセイ科)

ヤチダモのタモとは、北陸地方で田の畦の稲枷木として植えられている木に多く、「田面の木」と書くらしい。湿地や沢沿い（谷地）によく生育するのでヤチダモと名づけた。その説あり。北海道、本州中部以北。川辺や谷間に生育する。花期は4～5月。雌雄異株。花色は♀帯緑紫、♂帯紫褐。花序は総状。秋に翼のある長さ2.5～3.5cmの果実ができる。葉は対生で、羽状複葉（縁はギザギザがる）。

材は弾力性、耐朽性に富み、家具やスポーツの用具に使われる。背高ノッポの木。アイヌの伝説にこの背の高い木の上で、フクロウ（夜目がきく）が、悪魔が人間界に近づくのを見張っていたという話がある。



基部にはビロード状の毛がある



翼果果実



葉